



5期生教育コース通信



第6号（2023. 12月）

4期考査も終わり、どんどん寒い日が増えてきました。

11月13日に、愛知県立大学の内田純一教授をお招きして、「災害をとおして教育を考える—伊勢湾台風を一例として—」のタイトルで講義をしていただきました。内田先生は今回の講義を、来年度の「卒業研究」、大学での「卒業論文」につなげるための講義と位置づけられ、生徒たちにたくさんの資料を貸して下さり、調査と発表を課されました。講義に先んじて、生徒たちは2人ずつの5組に分かれて伊勢湾台風について「台風の概況と被害」「救援活動」「復旧・復興」「被災児童・生徒への影響」「教訓の継承」のテーマで調べ学習を行い、当日は各テーマについて発表を行いました。2か月前から調べ、まとめをした内容は聞きごたえのあるものになりました。

昭和34年という、生徒にとっては昔のできごとながら、災害が教育に与える影響について知ることができました。教授の話から「歴史『を』学ぶのではなく、歴史『から』学ぶ」ことが大事であるということ、研究には独自性・新たな視点が必要であることを学び、来年度の研究に向けて今後は広い視野を持って生活しようという意欲を持つことができました。

★ 日時・場所 2023年11月13日（金）14:15~16:05 本校

★ 内容 「災害をとおして教育を考える—伊勢湾台風を一例として—」
愛知県立大学 教育福祉学部 教育発達学科 教授 内田純一先生

<活動の様子>

